

## 2021年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

### 1. 研 究 (本年度のみ)

ふりがな	さとう けんじ					
教員氏名	佐藤 健司		職 位	教授	学 位	修士
アルファベット表記	SATO Kenji					
専門分野		経営学、経営管理論、人的資源管理論				
研究課題	テーマ	「モチベーション理論の2面性を踏まえた安心・安全な働き方の研究」				
	概要	モチベーション理論の2面性と従業員のモチベーションの低さの原因を整理したうえで、とりわけ日本における課題の解決策を提示する。				
本年度 研究業績	研究費	総額： 18万円 内訳：個人研究費 18万円 / 科学研究費 円 そ の 他 円				
	研究テーマ	「高業績業務システムに基づいた人的資源管理の2面性の研究」と「日本企業における従業員の仕事への熱意度・満足度の低さとその要因についての研究」				
	経過と到達点	本年度は、特に2つの研究を行った。第1は、高業績業務システムに基づいた人的資源管理の2面性の研究である。高業績業務システムに基盤をおいた人的資源管理の肯定的側面と否定的側面をそれぞれ整理することによって、今後の人的資源管理の方向性を考察した。第2は、日本企業における従業員の仕事への熱意度と満足度の低さとその要因についての分析を行った。				

### (1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文	「高業績業務システムを基盤においた人的資源管理の2面性」(掲載予定)	2022年	単著	『京都経済短期大学論集』第29巻第1号	高業績業務システム(High-Performance Work Systems)を基盤においた人的資源管理(Human Resource Management)の肯定的側面と否定的側面をそれぞれ整理することによって、今後の人的資源管理の方向性を考察した。

⑥紀要研究 ノート、専門 誌記事等	「日本企業における従業員の仕事への熱意度・満足度の低さとその要因」(掲載予定)	2022年	単著	『京都経済短期大学論集』第29巻第1号	本稿では、従業員の仕事への熱意度・満足度の低さの状況を各種調査で確認をしたうえで、このような仕事への熱意度・満足度の低さが、どのような原因で生じているのかということについての概観を示した。
⑦学会での 口頭発表、討 論者(ディス カッサント)	(仮題)「メンバーシップ型雇用とジョブ型雇用の今後」	2022年3月9日 (報告予定)	単独	京都経済短期大学経営情報学会	日本企業の働き方は主としてメンバーシップ型雇用に基づいた働き方であるが、今後の働き方について、ジョブ型雇用も視野に入れながら考察する(内容の変更の可能性あり)。

## (2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

## (3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請	「モチベーション理論の2面性を踏まえた安心・安全な働き方の研究」		文科省科研費	本研究の目的は、モチベーション理論の2面性と従業員のモチベーションの低さの原因を整理したうえで課題の解決策を提示することにある。

## 2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
	講義	経営学総論・人的資源管理論・経営英書講読Ⅱ	経営管理論・マネジメント史・経営講読Ⅰ
演習	基礎ゼミ・ゼミⅡ	ゼミⅠ・ゼミⅢ	

	実習	
教育内容・方法 の工夫	◆講義科目	今年度も、学生の科目に対する興味・関心が持続し、そこから学生が主体的に対象科目を学んでいく環境をいかにつくっていくかという点を重視した。また、講義内で活用しているアクティブ・ラーニングに関する取り組みに重点を置き、できる限り多くのコメントを紹介すると同時に、コメントに対する丁寧な解説を加えた。
	◆演習科目	演習科目を実施するにあたって、留意した点は、自分の考えを周りの人々にどのように効果的に伝えることができるかということにある。この点に基盤をおきながらそれぞれのゼミの諸活動を行い、一定の成果をあげた。
	実習科目	
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）	

## (1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

## 3. 社会・学会活動（本年度のみ）

## (1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

## (2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	労務理論学会理事（第11期理事）

## (3) 講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	

## 4. 特記事項（本年度のみ）

--